

だれもが安心して暮らせる町・南知多町へ

内田たもつの5つの提案



日本共産党南知多町議会議員
内田たもつ

「コロナ危機のもと、みんなで声をあげ、命とくらし第一の南知多町をつくりましょー」

内田たもつ議員は、コロナ禍で困っている町民の立場に立った支援策を、8回にわたり町当局に要望し、○水道基本料金の6カ月無料化 ○介護・障がい者福祉施設に応援金の交付 ○給食費の7カ月無料化 ○令和2年度生まれの赤ちゃん全員に10万円給付などが実現しました。町民の願いをまっすぐに議会に届けて毎議会で質問し、命とくらしを守るため、きっぱりとモノを言ってきました。

日本共産党内田たもつ議員の

「5つのお約束」を紹介します

①「コロナ禍から命とくらしを守ります」

- ・国の助成も活用してPCR検査などの実施計画をつくらせます。
- ・町内のすべての特別養護老人ホーム、保育園、学校など感染リスクの高い施設の職員や関係者にPCR検査を国・県に要請し実施させます。
- ・暮らしと生業に対する補償措置を拡大し、町民と業者の暮らしと営業を守ります。
- ・水道基本料金、学校給食費などの無償化を引き続き継続します。

②国民健康保険税・介護保険料の

引き下げをすすめます

- ・介護保険料は、積み立てた2億円の基金、所得に応じた負担の見直しなどで引き下げます。
- ・コロナ感染症で収入が減少した世帯の国民健康保険税、介護保険料の減免制度を引き続き継続・充実します。
- ・消費税は、町民、中小企業に負担となり、町財政を圧迫しています。消費税を緊急に5%に減税し、経営の苦しい中小企業に19・20年度の納税の免除を国に要求します。

③行き届いた教育、文化の振興で

子どもが輝く南知多町を

- ・学校の統廃合は、今すぐの統廃合ではなく、長期的視野で学びの条件を考え、町づくりとともに、子どもたちに財政的応援をどの程度まで進めるかが問われています。当面は、住民の合意で策定、推進します。
- ・少人数学級の速やかな実現をはかります。子どもたち一人ひとりの多様性を大切に、尊重する教育を保障するために、少人数学級は重要な一歩です。
- ・コロナ禍での教育は、当面30人学級を実施します。
- ・男女平等及び多様性を尊重するジェンダー平等の町づくりを推進します。

- ・女性が活躍できる町づくりのために、職場環境の改善や子育て支援等に取り組めます。
- ・南知多町への移住希望者や若者が住み続けられるために、就労支援、空家等を利用した住居の提供等の施策を進めます。
- ・障がい者、高齢者が生活しやすい支援・施策に取り組めます。
- ・各地域の図書館の蔵書・設備などの改善を行います。
- ・移転された民俗資料館を一刻も早く整備し、開館します。
- ・借地公園制度を充実し、借地者への優遇措置等活用して、公園不足の解消・整備をはかります。